

「こんな東山田小学校にしていきたい」

校長 魚住 千尋

新緑がまぶしく、さわやかな風が心地よい季節となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

子どもたちは新しい学年・学級にも少しずつ慣れ、学習や学校生活に意欲的に取り組む姿が見られるようになってきました。登校時の表情や教室での様子からも、「がんばりたい」という前向きな気持ちが伝わってきます。

先日は、ご多用の中、授業参観・懇談会にご参加いただき、ありがとうございました。授業を参観し、新しい学級の雰囲気やお子様の学習の様子をご覧いただけたことと思います。また、懇談会では学年・学級の経営方針や、学習や生活についてお話しさせていただきました。今後も、学校と家庭が連携しながら、子どもたちを支えていければと考えています。

さて、本年度の「たいをふやそう」の合言葉をもとに、私から子どもたちに「こんな東山田小学校にしていきたい」という七つの願いを伝えました。これは、本校の教育活動の柱であり、今後、学校説明会でお伝えするグランドデザインに書かれている内容と共通するもので、日々の学校生活を通して大切にしていきたい思いです。

一つめは、「いじめのない学校」です。だれもが安心して登校できる学校であることを何より大切にしています。相手の気持ちを考え、困っている人がいたら進んで手を差し伸べることのできる、思いやりの心を育てていきます。

二つめは、「自分からあいさつができる学校」です。学校の中だけでなく、地域の方々にも、自分から気持ちのよいあいさつができる子どもに育ててほしいと願っています。

三つめは、「自分たちで考えて行動できる学校」です。授業や学級活動、委員会活動などで、「どうしたらもっとよくなるだろう」と自ら考え、行動できる力を大切にしていきます。

四つめは、「他の学年とも仲よく活動できる学校」です。なかよし活動や委員会活動、クラブ活動などを通して、学年の枠をこえて協力し合い、互いを思いやる関係づくりを進めていきます。

五つめは、「たがいのよさを認め合える学校」です。授業や話し合い活動、学校行事などを通して、自分のよさや友達のよさに気づき、互いを大切にできる心を育てていきます。

六つめは、「地域とのつながりを大切にする学校」です。まち探検や総合的な学習の時間などで、多くの地域の方々との出会い、学校では学べないことを教えていただきます。感謝の気持ちをもって、地域と関わっていける子どもたちを育てていきます。

七つめは、「自分の命は自分で守れる学校」です。避難訓練などに真剣に取り組み、「自分の命は自分で守る」という意識をもって、考え、行動できる力を身に付けていきます。

これら七つの願いを子どもたちと共に確認しながら、教職員一同、力を合わせて教育活動を進めてまいります。

今後とも、保護者・地域の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。